

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者		
1 教育課程・ 学習支援 〔教務部〕 〔授業改善 ・ IPT企画室〕	大学進学に 適した教育 課程を研究 するととも に、授業改善 および主体的 に学ぶ態度 の育成に 努める。	①大学進学等 を見据えた 特色ある教育 課程を研究・ 開発し、 地域に対して 積極的に 広報する。	次年度から導入される新学習 指導要領を見据えた授業内容の 研究・改善が必要である。 また、生徒一人ひとりが将来 を見据えた進路選択ができるよ う、様々な方法で教育課程につ いて積極的に説明し、意識付け をする。	【取組指標】 新教育課程を見据えた授業改善 に積極的に取り組む。	日々の授業の中で、新学習指導要領を見据え た授業改善の取組について A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員		
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【満足度指標】 教育課程の理解度について把握 する。			金津高校の教育課程（時間割）は、自分の進 路に対して適切な科目およびその時間数が A：しっかりと設定されている。 B：ある程度設定されている。 C：あまり設定されていない。 D：ほとんど設定されていない。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、説明の方法を検討す る。
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上					
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	②主体的・協 働的な学び を育む授業 改善に努め る。			新しい学力観を見据えた学び を育む授業改善に、積極的に取 り組んでいる。生徒の理解度は 全体としては前年度並みであつ たものの、2年は低下傾向にあ る。 また、保護者からみた子ども の学習状況は前年度よりやや上 昇したが、目標値には達しなかつ た。1・2年の結果が若干低い ので、家庭学習の充実に向けて 計画的な学習への意識付けを行 う。	【取組指標】 主体的・協働的な学びを育む 授業に積極的に取り組む。
		【目標指数】 A+Bの合計が95%以上	【成果指標】 日々の授業の理解度について 把握する。	私は、授業の基礎的な内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。					
		【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				【満足度指標】 子どもは、学習を A：しっかりとやっていると思う。 B：ある程度やっていると思う。 C：あまりやっていないと思う。 D：やっていないと思う。			
		【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	②主体的・協 働的な学び を育む授業 改善に努め る。	新しい学力観を見据えた学び を育む授業改善に、積極的に取 り組んでいる。生徒の理解度は 全体としては前年度並みであつ たものの、2年は低下傾向にあ る。 また、保護者からみた子ども の学習状況は前年度よりやや上 昇したが、目標値には達しなかつ た。1・2年の結果が若干低い ので、家庭学習の充実に向けて 計画的な学習への意識付けを行 う。			【取組指標】 主体的・協働的な学びを育む 授業に積極的に取り組む。		日々の授業の中で、主体的・協働的な学びを 育む授業改善の取組について A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。
		【目標指数】 A+Bの合計が95%以上			【成果指標】 日々の授業の理解度について 把握する。	私は、授業の基礎的な内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。			
【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【満足度指標】 子どもは、学習を A：しっかりとやっていると思う。 B：ある程度やっていると思う。 C：あまりやっていないと思う。 D：やっていないと思う。								
【目標指数】 A+Bの合計が80%以上		②主体的・協 働的な学び を育む授業 改善に努め る。			新しい学力観を見据えた学び を育む授業改善に、積極的に取 り組んでいる。生徒の理解度は 全体としては前年度並みであつ たものの、2年は低下傾向にあ る。 また、保護者からみた子ども の学習状況は前年度よりやや上 昇したが、目標値には達しなかつ た。1・2年の結果が若干低い ので、家庭学習の充実に向けて 計画的な学習への意識付けを行 う。	【取組指標】 主体的・協働的な学びを育む 授業に積極的に取り組む。	日々の授業の中で、主体的・協働的な学びを 育む授業改善の取組について A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が80%未満の場 合は、家庭との連携を強めると ともに、課題の与え方等、改善 策を検討する。	保護者
【目標指数】 A+Bの合計が95%以上	【成果指標】 日々の授業の理解度について 把握する。		私は、授業の基礎的な内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。						
【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				【満足度指標】 子どもは、学習を A：しっかりとやっていると思う。 B：ある程度やっていると思う。 C：あまりやっていないと思う。 D：やっていないと思う。					
【目標指数】 A+Bの合計が80%以上									

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	
2 生徒指導 〔生徒 指導部〕	特別活動や部活動の活性化を図り、豊かな人間性と自主的・実践的態様の育成に努める。	①登校指導や頭髪服装指導を通して、挨拶の励行、時間厳守、身だしなみなどの基本的な生活態度の育成に努める。	毎朝の登校指導や生徒会の活動などを通して、挨拶に代表される基本的な生活態度が身に付いている生徒の割合は高い。生徒一人ひとりが意義を自覚し、さらに積極的に場に応じた挨拶が学校外においてもできるよう、様々な機会を通して指導を継続していく。また、時間厳守や身だしなみなど、ルールやマナーを積極的に守ろうという態度を育成する。	【取組指標】 生徒をはじめ学校内外の方々への挨拶を積極的に行う。	生徒をはじめ学校内外の方々への挨拶を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり積極的には行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				
				【成果指標】 先生や友人をはじめ学校内外の方々への挨拶を積極的に行う。				私は、先生や友人をはじめ学校内外の方々への挨拶を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				
		②学校行事やクラス活動、部活動などに積極的に取り組ませ生徒の自主的・実践的態とリーダーの育成に努める。	多くの生徒が自主的・積極的に学校行事や部活動に取り組んでいるが、主体性や積極性に欠け、自己を十分生かし切れていない傾向の生徒もみられる。生徒自身が役割を主体的・積極的に担い、その責任を他者と協力して果たすことにより、自己肯定感や自信を持てるよう支援する。	【取組指標】 生徒が個々の役割や責任を果たせるよう支援する。	生徒に A：積極的に支援している。 B：ある程度支援している。 C：あまり支援していない。 D：支援していない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				
				【成果指標】 自分の役割を積極的かつ主体的に行なう。				学校行事や部活動において、自分の役割を意識し、積極的な取組が A：できている。 B：ある程度できている。 C：あまりできていない。 D：できていない。
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				
		③いじめの未然防止、早期発見・解決に対する教職員の意識の定着・高揚に努める。	すべての教職員がいじめ問題について正しい認識と理解のもとで、日々の教育活動をさらに組織的に進めていく。	【意欲・取組指標】 いじめ問題に対して正しく認識し、適切に対処する。	いじめの未然防止、早期発見、事案対処に向けて A：十分に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：ほとんど取り組んでいない。	A+Bの合計が100%未満の場合は、改善策等を検討する。	教職員	
【目標指数】 A+Bの合計が100%								

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者						
3 進路指導 〔進路 指導部〕	生徒一人ひとりの学力向上と進路意識の高揚を図り、主体的に進路を切り開く態度の育成に努める。	①進路行事の企画や模試の実施・分析を行うことで、主体的な進路選択ができる力を育むとともに、意識の高揚を図る。	昨年度、教職員・生徒・保護者とも全体では目標指数を上回った。今年度は学習支援サービス等も利用しながら模試の活用による学力の向上に取り組むとともに、生徒の志望や実態に即した効果的な進路指導に努める。	【取組指標】 各種講座を計画的に実施し、模試の分析を積極的に行うことで生徒の学力向上につなげる。	各種講座、模試分析の活用等、進路指導に関することに A：積極的に行っている。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員						
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 土曜講座・大学入試対策講座等に参加し、模試を活用することで学力の向上を図る。			各種講座（土曜講座・大学入試対策講座等）への参加や、模擬試験の活用は A：学力の向上に十分役立った。 B：学力の向上におおむね役立った。 C：学力の向上にあまり役立たなかった。 D：学力の向上に役立たなかった。	A+Bの合計が85%未満の場合は、実施方法、指導方法を検討する。	生徒			
				【目標指数】 A+Bの合計が85%以上							【満足度指標】 補習等、生徒の学力向上のための取組が十分に行われている。	A+Bの合計が90%未満の場合は、取組体制を検討する。	保護者
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上									
		②学年通信や進路だよりの発行、研修会等をおして、生徒・保護者への適切な進路情報の提供に努める。	昨年度、教職員・生徒とも目標指数を上回ったが、保護者の満足度指数は昨年度に続き、基準を達成できなかった。より各学年との連携を密にして、生徒の進路意識を高めるとともに、進路研修会や進路だよりの面談、保護者懇談会等をおして、生徒・保護者への進路情報の提供に努める。	【取組指標】 生徒の志望を把握し、きめ細かで適切なガイダンスを行う。	進路に関するガイダンスや情報提供を、生徒や保護者に A：積極的に行っている。 B：おおむね行っている。 C：やや不十分である。 D：不十分である。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員						
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 生徒一人ひとりが自分の進路について主体的・積極的に考える。			進路だよりや進路情報誌の提供、オープンキャンパスへの参加等は自らの進路決定に A：十分役立った。 B：おおむね役立った。 C：あまり役に立たなかった。 D：全く役に立たなかった。	A+Bの合計が85%未満の場合は、指導方法、取組体制を検討する。	生徒			
				【目標指数】 A+Bの合計が85%以上							【満足度指標】 学校からの進路情報の提供や模試結果の提供が A：十分に行われていると思う。 B：おおむね行われていると思う。 C：やや不十分であると思う。 D：不十分であると思う。	A+Bの合計が70%未満の場合は、生徒や家庭への進路情報提供を強化する。	保護者
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上									

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	
4 中高一貫教育 〔中高一貫教育〕	中高一貫教育の特性を活かした教育の充実に努める	①地域との連携を密にし、特色ある教育活動を通して、中高一貫教育の充実・発展に努めるとともに、取り組みを積極的に広報する。	中高一貫教育の事業に対する連携生徒と連携中学校の教員評価は、高い水準を維持しており、保護者の満足度は前年度に比べ向上している。 引き続き事業内容について連携中学校との連絡・調整を密に行うとともに、さまざまな取組を積極的に広報していく。	【取組指標】 中高一貫教育の適切な実践に努める。	中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 中高一貫教育の実践について中学校の教員の視点から把握する。			中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 中高一貫教育の実践について中学校の生徒の視点から把握する。	中高一貫に関する授業内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。	A+Bの合計が95%未満の場合は、改善策を検討する。	連携中学校 連携クラス 三年生徒
				【目標指数】 A+Bの合計が95%以上	【満足度指数】 中高一貫教育の実践について保護者の視点から把握する。	中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。		
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者			
5 保健管理 〔保健部〕	健全な心身を育む生活習慣の確立と美化・環境保護に対する意識向上に努める。	①家庭と連携し、心身の健康に関する知識を深めるとともに、感染症対策としての毎朝の検温・体調チェックをとおして、自己の健康管理能力を育てる。	学校全体で日常の健康管理は定着してきているが、生徒の健康管理意識をさらに向上させる必要がある。心身の健康に配慮が必要な生徒に気を配り、健康管理と生徒理解に向け、家庭との連携や教員間の共通認識をより一層深めていく。	【取組指標】 家庭や保健室・教育相談係と連携し、心身の健康に配慮が必要な生徒の把握と対応に努める。	クラスの生徒の心身の健康管理に A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員 (クラス担任)			
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 心身の健康について自己管理をする。	心身の健康を保持増進するための生活習慣が A：しっかり身についている。 B：ある程度身についている。 C：あまり身についていない。 D：身についていない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒		
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上						
				【満足度指標】 子どもは家庭でも心身の健康管理に努めている。	子どもは家庭で心身の健康管理を A：しっかり行っていると思う。 B：ある程度行っていると思う。 C：あまり行っていないと思う。 D：全く行っていないと思う。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者			
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	②美化意識の向上と主体的な清掃活動の実践を目指す指導に努める。	生徒は真面目に清掃に取り組んでいるが、監督者の指示に従った清掃に終わりがちである。清掃方法や重点項目を示しながら、生徒の美化意識を高め、主体的に清掃に取り組めるよう指導する。 さらに、美化意識を育てることにより、自分の学習環境を整えるように取り組ませる。	【取組指標】 校舎内外の美化意識を高めるため清掃活動に積極的に取り組ませる。	監督区域の生徒の清掃指導を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上			【成果指標】 校舎内外の清掃活動に対し主体的に取り組む。	日々の清掃に、主体的に A：取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒
		【目標指数】 A+Bの合計が90%以上								
		【満足度指標】 子どもは、自分の学習環境を整えようと努力している。	子どもは、家庭で自分の学習環境を整えることを A：しっかり行っていると思う。 B：ある程度行っていると思う。 C：あまり行っていないと思う。 D：全く行っていないと思う。	A+Bの合計が60%未満の場合は、改善策を検討する。			保護者			
		【目標指数】 A+Bの合計が60%以上	③気がかりな生徒に対する理解と対応に努める。	多様化・複雑化している生徒の心の悩みに対応するため、各教員が生徒理解と支援に努めるとともに、相互に共通認識を深め十分に連携を図る。			【取組指標】 生徒一人ひとりに対する理解と支援に努めている。	生徒に対する理解と支援を A：十分に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員
		【目標指数】 A+Bの合計が90%以上								

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
6 開かれた 学校づくり  〔図書 渉外部〕	学校と保護 者・地域社会 との連携の 強化および 教育活動の 広報に努め る。	①ホームペー ジやPTA だよりを通 して、本校 教育の取組 を積極的に 広報すると ともに、保 護者や地域 社会と連携 した活動の 充実に努め る。	ホームページやPTAだよりを通して、学校の教育活動やPTA活動についての情報を発信し、確実に保護者に伝わるよう努める。 特にホームページについては、学校行事や部活動など、生徒の学校生活の様子を十分知ってもらえるように、情報量の増加と内容の充実に努めなければならない。	<b>【取組指標】</b> 生徒を通じて、学校の教育活動が保護者へ伝わるように働きかける。	PTAだよりなどの配布の際に、保護者へ伝わるような工夫を A：毎回行った。 B：時々行った。 C：あまり行わなかった。 D：行わなかった。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員 (クラス担任)
				<b>【目標指数】</b> A+Bの合計が90%以上			
				<b>【満足度指標】</b> ホームページやPTAだよりをとおして、学校やPTA活動の様子がわかったとする人数の増加を図る。	ホームページやPTAだよりにより、本校の教育活動やPTA活動の様子が A：よくわかった。 B：ある程度わかった。 C：あまりわからなかった。 D：わからなかった。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者
				<b>【目標指数】</b> A+Bの合計が80%以上			

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者				
7 図書指導 〔図書 渉外部〕	学校図書館 の環境整備 および読書 活動の充実 に努める。	①図書および 資料の整備 と充実に努 める。	足繁く図書室に通い本に親し む生徒がいる一方で、図書室を 有効に活用できていない生徒も いる。 生徒の読書意欲を喚起し、図 書室の利用促進を図るため、 「Library 親」や「新刊案内」に よる広報活動、魅力的な図書・資 料の整備と充実に取り組む。	【取組指標】 図書の購入について相談や要 求を受けやすくする。	図書の購入についての相談や要求は A：しやすい。 B：おおむねしやすい。 C：少ししにくい。 D：しにくい。	A+Bの合計が90%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員				
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 図書室や学級文庫の本を充実 させる。			図書室や学級文庫の本は高校生として必要な ものや自己を啓発するものが A：よく揃っている。 B：ある程度揃っている。 C：あまり揃っていない。 D：揃っていない。	A+Bの合計が90%未満の 場合は、改善策を検討する。	生徒	
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				【取組指標】 朝読書や読書マナーについて 指導する。			朝読書や読書マナーについて A：積極的に指導している。 B：必要に応じて指導している。 C：あまり指導していない。 D：指導していない。
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 朝読書に積極的に取り組む。				朝読書に積極的に A：取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が85%未満の 場合は、改善策を検討する。	生徒
		②朝読書をは じめとした 読書活動の 充実および 読書マナー の向上に努 める。	本校の朝読書に対する取組は、 「朝の読書大賞」を受賞するなど 全国的にも高く評価されている。 平成16年から継続して実践し ており、どの学年も積極的に取り 組んでいる。 今後も、生徒の興味・関心を引 くような学級文庫の設置を行い ながら、生徒の読書習慣の確立に 努めるとともに、読書活動の充実 および読書マナーの向上を図っ ていく。	【目標指数】 A+Bの合計が80%以上		【満足度指標】 朝読書と読書習慣についての 保護者の見方を把握する。	朝読書は読書習慣に A：効果があると思う。 B：ある程度効果があると思う。 C：あまり効果はないと思う。 D：効果がないと思う。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	保護者		
		【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【目標指数】 A+Bの合計が80%以上								

## 令和3年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
8 自立支援 〔授業改善・ IPT企画室〕	学校の諸活動におけるPDCAサイクルの定着を促し、生徒の自己肯定感を高めて自立心の醸成に努める。	① 手帳とGoogleClass roomを連携活用し、ポートフォリオの蓄積とエビデンスの構築を促す。	習慣的に手帳を活用できている生徒がいる一方で、活用がままならず自身のスケジュール管理ができていない生徒もいる。また、出来事についての記録を残しているものの、振り返りが十分ではなく、メタ認知力の強化には至っていない。担任副担任を問わず、諸活動における積極的な声かけに努める。	<b>【取組指標】</b> 手帳活用を促し、機に応じた積極的な声かけを行うことで自己肯定感を養成する。	学校の諸活動における手帳の活用に対し A：積極的な声かけを行なっている。 B：声かけを行っている。 C：あまり声かけをしていない。 D：声かけを行っていない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員
				<b>【目標指数】</b> A+Bの合計が90%以上			
				<b>【成果指標】</b> スケジュール管理や振り返りを行うことで自主自立の精神を養う。	スケジュール管理や振り返りのために手帳を A：積極的に活用している。 B：活用している。 C：たまに活用している。 D：活用していない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒
				<b>【目標指数】</b> A+Bの合計が80%以上			
				<b>【満足度指標】</b> スケジュール管理や振り返りを行うことで自己管理に努めている。	手帳はスケジュール調整などの自己管理や自立心の向上に A：十分役立っている。 B：おおむね役立っている。 C：あまり役に立っていない。 D：全く役に立っていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者
				<b>【目標指数】</b> A+Bの合計が80%以上			
				<b>【取組指標】</b> ポートフォリオを活用し、エビデンスを構築することで、メタ認知力を強化する。	月毎や諸活動のポートフォリオに対し A：閲覧とコメントを行っている。 B：閲覧を行っている。 C：あまり閲覧していない。 D：閲覧していない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員
				<b>【目標指数】</b> A+Bの合計が80%以上			
<b>【成果指標】</b> ポートフォリオの蓄積に積極的に取り組む。	月毎や諸活動のポートフォリオに取り組むこと A：自分自身の成長を感じ、これからも成長できると感じる。 B：自分自身の成長を感じている。 C：自分自身の成長を感じる時がある。 D：これから成長していきたい。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒				
<b>【目標指数】</b> A+Bの合計が80%以上							